

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 いが児童発達支援センターれいあろは

保護者等数(児童数) 67(71)名 回収数 47名 割合 70%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	47				・活動などの様子を見ることができていないため、わかりません。 ・詳しいところまでは分かりませんが、見学などで見る事ができた範囲だと問題ないと思います。	お子さんの年齢や特性に合わせた生活・活動空間になっているか定期的に見直しを行い、発達に合わせた環境が整えられるよう取り組んでいきます。
	2 活動スペースは子ども達が分かりやすく過ごしやすい環境になっているか。また事業所の設備は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切にされているか。	46			1	・活動などの様子を見ることができていないため、わかりません。 ・バリアフリーについては、外と建物内の高さレベルが同じでスムーズに出入りができると思いました。	
	3 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもの活動に合わせた空間となっているか	46	1			・活動などの様子を見ることができていないため、わかりません。 ・実際に子どもが活動中に見えていないため、分からないのが正直なところ。お便りなどで見る限りは問題ないと思います。	
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、支援計画が作成されているか	46			1	・支援計画のコピーを一部頂けるとうれしいなと思います。 ・普段の先生方とのやりとりだとわかりにくいですが、モニタリングの報告を聞くときちゃんとされているのだと思います。	個別支援計画には、1人1人のお子さんの様子に合わせ、れいあろはで行う支援を具体的に記載するよう心がけています。今後はご家族と連携を図りながら、分かりやすい計画を作成し、より良い支援の提供に努めます。
	5 支援計画は子どもの支援に必要な項目で、具体的な支援内容が設定されているか。	45	1		1	・じっくり見てないので分かりません。 ・普段の活動の様子を実際見ていないので個別的な支援がされているかどうかは少し分かりにくいですが、普段の先生方とのやりとりだとわかりにくいですが、モニタリングの報告を聞くときちゃんとされているのだと思います。	
	6 個別支援計画に沿った支援が行われているか	42	3		2	・じっくり見てないので分かりません。 ・分かりませんが先生方は素晴らしいです。 ・普段の先生方とのやりとりだとわかりにくいですが、モニタリングの報告を聞くときちゃんとされているのだと思います。	
	7 同じプログラム活動ばかりではなく、様々なプログラム活動が実施されているか。	44	1		2	・じっくり見てないので分かりません。 ・季節に合わせた活動をして下さっていると思います。	
	8 契約時、支援の内容や利用料金について丁寧な説明がされているか。	47				書類記入など、数回に分けて丁寧に説明していただきました。	不明点については、いつでもお答え致しますので、お声掛け下さい。
	9 児童発達支援のねらいや支援内容に基づいて作成された個別支援計画を示しながら、支援内容の説明がされているか。	46	1			具体的に何を示すのかが分かりません。	
	10 れいあろはでの様子、家や保育所(園)や幼稚園での様子など職員と保護者が伝え合い、子どもの状況について共通理解ができているか。	43	2	1	1	・もっと話し合いの場が欲しいです。 ・時間を取らせたら申し訳ないと思ってしまい、ノートに書くようにしています。 ・2ヶ月に1回、一人10分ほどでも希望者には先生とお話する機会を作ってもらえると嬉しいです。何も無い時だと時間外なのに申し訳ないと思ってしまい相談するのを考えてしまいます。 ・れいあろはでも定期的に活動の様子を見学できる機会を作ると、より子どもの状況が把握できて良いと思います。 ・送迎時やお知らせ帳などで十分できていると思います。	連絡帳を中心に情報共有をさせて頂いておりますが、定期的に面談を行い、よりお子さんの様子について共有できるよう努めていきます。見学につきましては感染症拡大予防のため実施出来ていない状況です。事業所での子ども様を知って頂けるような取り組みを検討し、実施に繋げていきます。
	11 定期的に、保護者に対して、子育てなどに関する助言等の支援が行われているか	36	8	2	1	・もう少し子育てに関する助言をしてもらえると嬉しい。 ・コロナ禍なので仕方ないと思っています。 ・保護者側から発信した質問などには答えていただいていると思います。	

保護者への説明等	12	保護者会の開催等により保護者同士の連携が支援されているか。	14	8	25	1	・保護者同士がつながりが持てる機会があればいいと思います。 ・コロナ禍で、なかなか保護者会などは難しいと思いますが、保護者同士で情報交換などの機会があればありがたいです。 ・コロナ禍で開催されていないと思うので、開催されれば参加したいです。 ・他の保護者の方ともしっかりと関われる機会があればいいと思います。 ・コロナ禍なので仕方ないと思っています。 ・新型コロナウイルス感染予防の観点から開催されていないのかなと思います。	感染症拡大予防のため、行事や保護者ミーティングの実施が出来ていない状況です。事業の継続を第一に考慮しながら、保護者同士の交流が行えるよう検討していきます。
	13	苦情・要望に対応する体制について説明がされているか。また苦情・要望があった場合、迅速・丁寧に対応されているか。	38	7	1	1	・例えば苦情、要望があったときに、どういう内容で、どういう対応をしたかなど、文書で知らせてくれるなどしたら分かりやすいと思います。 ・事実を目撃したり、当事者になったことがないため分かりません。	ご意見等ありましたら、いつでもお声掛け下さい。
	14	定期的におたよりやホームページで活動内容や行事予定、連絡等の情報が発信されているか。	44			3	月1回のおたよりで活動の様子や今後の予定を発信されていると思います。	今後も継続してお便りを発行し、活動内容や様子をお伝えしていきます。
	15	子どもや保護者との情報共有のための配慮がされているか。	38	5	1	3	・送迎時やお知らせ帳などで配慮されていると思います。 ・玄関に給食の写真を掲示して頂いていましたが、玄関での報告ではなくなったため見えなくなりました。どんな物を食べたのか知りたいなと思います。 ・連絡帳を書いて頂いていますが、顔と名前が一致せず、「この人かな」と想像しています。	主にお便りや連絡帳、面談を通して、情報共有を行っています。給食の写真が見たい、職員の顔と名前が一致しないのご意見頂きましたので、お知らせできるように検討させていただきます。
	16	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	42	3		2	注意されていると思います。	
非常時等の対応	17	緊急時、感染症の対応が説明されているか。	39	2	3	3	健康チェック表などでされていると思います。	契約時にご説明させて頂くようにしておりますが、不明な点等ありましたら、いつでもお声掛け下さい。
	18	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	39	5		3	おたよりに書いてある範囲で内容を把握しています。	毎月の防災・避難訓練の内容をお便りに掲載させて頂いております。また職員は消火訓練、通報訓練を定期的に行っております。災害時に備えた訓練を引き続き、実施していきます。
満足度	19	子どもは、れいあろはに通う事を楽しみにしているか	44	1		2	・本当にれいあろはに行くのが好きです。 ・行くことを嫌がったりはしていないし、いったんに楽しんでくれていると思います。	今後もお子さんに安心して楽しく通って頂けるよう、活動の工夫を行い支援の質の向上に努めていきます。
	20	事業所の支援に満足しているか	42	2		3	家庭でできない体験をさせていただいていると思います。	
その他		・給食に麺類を増やしてほしいです。(保育園が毎週麺類の曜日にれいあろはに行って食べられないため) ・通う回数が自由に決められるといいなと思います。 ・いつもありがとうございます。今後ともよろしく願います。 ・毎週楽しみに通わせて頂いております。コロナ禍でれいあろはさんの様子(もちろん保育園も)が直接見れないのが残念ですが、仕方がないとも思っています。いつも事細かく色々教えて頂けるので安心しております。何より楽しみと言うのがすごうれしく安心します。 ・保護者同士の繋がりが全くできない(機会がない)事や子どものセンターでの様子が見られない(参観日などが無い)のがとても残念でした。 ・おたよりやホームページ、連絡帳などで様子を発信して頂いていますが、保育園のように実際の目で見たりできる、参観や発表会、運動会などの機会が全くなかった事はとても残念でした。 ・いつも愛情を持って接してくださってありがとうございます。楽しく通わせてもらって出来なかったことが少しずつ出来るようになったりと成長を感じる事ができ嬉しく思います。また何か困ったことがあった時に相談させてもらえる環境も大変有難く思います。 ・いつも大変お世話になり、とても手厚く温かく支援して頂いて、感謝しています。子どもも通うことが楽しみで、帰ってきてからもご機嫌です。先生方も皆さん優しくして下さって有難いです。できたら先生のお名前とお顔が一致するとうれしいのですが、ノートに書いて下さる先生のお名前をみて、この先生かなと勝手に想像しています。未就園だと不安な事だらけで分からないことも多いので、ドクターよりもれいあろはの先生に相談できる機会があるとうれしいなと思います。コロナが落ち着いたら見学させてもらえたらなと思います。どんな様子を過ごしているのか外からそっと覗いてみたいです。同じ学年のお母さんたちとお話できる機会がいつかあるとうれしいです。これからもよろしく願います。 ・送迎利用しているせいか職員皆さんの顔と名前が一致しておりませんので、職員皆さんの顔と名前の一覧表を初めて利用する時や職員の配置換えがあった時に頂けると嬉しいです。顔と名前と一緒に発達支援に関する資格(臨床心理士や理学療法士など)誰が持っているか一緒に書いてもらえたらいいなと思いました。まだまだ発達に関して分からない事ばかりなので発達障害に関する勉強会(発達障害の基本的なこと、子どもが生涯で受けられる行政等の支援などの情報)を簡単なものでよいのでれいあろはを卒業するまでに一回してほしいです。 ・いつもご支援していただきありがとうございます。給食も作っていただきありがとうございます。その給食ですが、好きな物を食べて、嫌いな物を食べていない事がよくあるみたいです。保育園では、苦手なものは量を減らしてもらって頑張って食べているようなので、れいあろはでも無理やりとまではいかなくても、少しでも頑張って食べるように言ってもらえると助かります。よろしく願います。 ・子どもの通う回数をもっと増やしてほしい。れいあろはに行くのが大好きです。 ・とても感謝しています。 ・お迎えの時に1日の様子を伝えてくださるのが玄関ではなくなったので、給食の写真を見る事ができなくなりました。難しいかもしれませんが、何らかの方法でみられたら「今日はこんな物を食べたんだな」とわかるのでありがたいです。 ・新型コロナウイルスの影響で保護者同士の連携や交流の機会がないので、感染対策を考慮した上で、今できる範囲で交流の場の提供や情報交換の機会が持てたらいいなと思います。						

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

事業所名 いが児童発達支援センター れいあろは

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点、課題点	改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	1		・活動や人数に合わせたスペースを準備するようにしています。 ・個別の対応が必要な時はクラスでの活動だけではなく、お子さんに合わせた個別対応をすることがあります。 ・職員間で連携を図り、1人1人のお子さんに合わせた関わりができるよう、体制を整えるようにしています。	・1人1人が安心して楽しく通って頂けるように環境等の検討を日々行い、改善に繋げていきます。
	2	職員の配置数は適切である	6	1			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がい特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7				
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7			保育士、専門職、心理士が連携を図り、定期的に勉強会を行っています。	保育活動や個別支援計画の策定においては、実践・評価・改善を意識して取り組んでいます。またガイドラインアンケートの結果を踏まえた事業所の取り組み検討し、来年度の行動計画を作成していきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7				
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開	5		2		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3		4		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7				
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7			・その時のお子さんの様子を計画書に反映できていない事があります。	・個別支援計画の作成や定期的な見直しについてはお子さんや保護者、関係機関などを含めた支援を行うため、職員間で意見交換、会議の実施を継続します。お子さんの様子の変化の共有、支援方法の確認を行った上、必要に応じて随時、計画書の変更を行い、より適切な支援が提供できるように取り組みます。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7				
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7				
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7				

適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			・保育活動は保育士、専門職が意見を出し合い、発達に合わせた活動が提供できるように心がけています。活動後には振り返りを行うようにしています。 ・振り返りで良かった点、工夫が必要な点を深めて話し合いができるとよいと思う。 ・様々な経験ができるよう話し合い等で遊びのバリエーションを増やしていきたいです。 ・雨の日の活動バリエーションを増やしていきたい。	・発達や遊びに関する知識を研修や日々のミーティングを通して、より深めていけるよう努めていきます。 ・打ち合わせ、振り返りは毎日行っています。お子さんの様子を共有し、充実した活動が出来るよう検討と改善に取り組んでいきます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7				
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7				
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7				
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1			
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7				
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7				
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			・相談支援事業所や子育て支援関係機関と会議等を通して情報共有を行い、連携した支援を行っています。	・引き続き情報共有を行い、連携した支援を行っています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7				
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	対象児なし				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている					
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7			・保護者との情報共有に関しては送迎時に保護者の方に様子などを伝えていきます。また保護者送迎が難しい方には、連絡帳に様子を記入し伝えていきます。	・限られた時間の中で保護者の方に何を伝えることが大切かを職員間で話し合いながら保護者の方とのより良いやり取りが出来るよう努めていきます。 ・保育園(所)、幼稚園との情報共有や就学先への引継ぎは継続して取り組んでいきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7				
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2	1		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		7			
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	2	3		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7				

	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	4	2		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			・行事を実施したいと思いますが、コロナ禍のため、開催ができていません。 ・毎月お便りを発行し、事業所の活動やお子さんの様子をお伝えするようになっています。見学等して頂くことが難しいので、できるだけ写真を多くするようにしています。	・定期的に保護者の方と面談を実施し、お子さんの様子や個別支援計画書について丁寧に伝えることができるよう計画を立てて取り組めるよう努めます。 ・コロナ禍ではありますが、安心して通って頂ける事業運営を心がけています。事業の継続を第一に考えながら、保護者ミーティングや行事の実施方法について検討していきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7				
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7				
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		7			
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7				
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7				
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7				
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7				
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		7			
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7			・月に一度、地震や火災を想定した訓練を行っています。 ・安全に活動して頂ける環境を整えられるよう、職員間で随時話し合い、改善するようにしています。	・各種マニュアルを定期的に見直し、今後も必要な訓練を行っています。 ・お便りを通じて、保護者の方には防災訓練の実施を事前にお伝えしています。避難だけでなく、消火訓練、消防署への通報訓練も実施し、安心して通って頂けるように努めていきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7				
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7				
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7				
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7				
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7				
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	1	2		